



FUCHU CITY

議会だより

No.
94

発行／府中市議会議長 令和元年11月1日発行 編集・広報広聴特別委員会
TEL(0847)43-7171・FAX(0847)45-3212 ホームページ <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp>

府中市議会情報誌
第94号



“ワッショイ!ワッショイ!” 元気いっぱいの子どもみこし ステキな未来をのせて
—この秋、市内の保育所、幼稚園で運動会—

9月議会

平成30年度府中市一般会計歳入歳出決算を認定!

9月定例議会は、9月2日から9月18日までの17日間で開き、議案25件、報告4件、請願1件、意見書案3件、決議1件を審議、議決しました。

主 な 議 案

- ・ 地方独立行政法人府中市病院機構第3期中期目標を定めることについて(令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間の目標を定めるもの) **原案可決**
- ・ 平成30年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について(歳入総額210億21万8,511円、歳出総額195億2,936万9,648円、実質収支7億406万2,000円の黒字) **認定**
- ・ 令和元年度府中市一般会計補正予算(第2号)について(歳入歳出予算の総額にそれぞれ7,038万7千円を追加する) **原案可決**

請 願

- ・ 高校卒業年齢まで子どもの医療費助成を求める請願(閉会中継続審査申出 厚生常任委員会) **継続審査**

議員提出意見書案

- ・ 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書の提出について **原案可決**
- ・ 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について **原案可決**
- ・ 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について **原案可決**

議員提出決議案

- ・ 天皇陛下御即位を奉祝する賀詞決議 **原案可決**

一般質問

Q & A

9月5日、6日 13人の議員が
市政を問う！



日本共産党
ならざき まさみち
榑崎 征途

外国人児童生徒に対する 教育支援

Q 外国人労働者の家族に就学年齢の子どもがいる場合、市の対応はどうか。

A 教科書の無償給与や就学援助を含め、日本人と同一の教育を受ける機会を保障している。増加する外国籍児童・生徒の円滑な学校への受け入れを行うため、年齢相当の学年の教育が適切でないと認められるときは下学年への入学を可能にすることや、日本語指導等特別な指導を行うことで、円滑な適応につなげる支援を行う。



日本共産党
おかだ たかゆき
岡田 隆行

ごみ処理の広域化が 府中市民に与える影響

Q ごみ処理の広域化には課題が多いと考える。市民へ与える影響はどうか。また大災害時にどう対処するのか。

A 新しい施設でも、収集したごみをRDF化しないのでそのまま持ち込むので、今と変わらないものと考えている。大地震などの災害で運転できなくなる可能性も低いと考えられる。しかしながら、府中市としても、災害が起こったことを想定した対応マニュアルなどを策定することも必要と考える。



公明党
かしま ひろのぶ
加島 広宣

軽減税率の導入

Q 本年10月より消費税が10%になり、その際には軽減税率が導入される。それにより食料品や新聞などは例外的



公明党
おおもと かこ
大本 千香子

断らない相談体制

Q 「断らない相談体制」について国でも検討が始まった。府中市では、困って相談にいられた方に安心してもらう体制になっているのか伺う。

A ご相談があれば各担当課につなぎながら解決できるように対応しているが、相談者自らがそれぞれの課を回るようになる。この体制で本当に困っている方が問題解決までたどり着けるか課題もある。今後、職員の行動理念の確立も考えながら、市民の皆さんが安心して窓口で相談できるよう検討したい。



市民クラブ
みずた ゆたか
水田 豊

市民病院の将来像

Q 市民病院の新たな将来像をどのように考えているか。その確立にあたり市民が参加できる場や、市民説明会を開催するべきではないか。

A 医師不足の中で2病院だけの医療完結が困難であり、他地域と連携した病院経営を目指す。市民参加、市民説明会については市民の代表である議会に報告、議論していただ



A 今のところ消費税が10%になると、府中市指定ごみ袋に対する消費税も10%になる。



市民クラブ
しばうち のりあき
芝内 則明

全ての人が歩きやすい歩道

Q 市内中心部においては、歩道が整備されているが、周辺部では旧態依然の歩道で高齢者や障がい者の方が通行しにくい状況がある。市の考え方を伺う。

A 歩道は、その時々の方針で整備している。現在の基準に適合していない歩道もある。歩道の改善対策としては、緊急度を精査して勾配の解消や歩道の拡幅、車道と一体化し路肩をグリーン舗装にして歩行者と自動車共存できる道路空間の整備を図る。



市民クラブ
どい もとじ
土井 基司

歴史文化遺産を 活かしたまちづくり

Q 重要な歴史遺産で観光資源でもある「恋しき」の離れの漆喰が崩落し、屋根をブルーシートで保護しているところがある。この部分は国登録文化財の対象かどうか、修理に関して補助制度はあるのか。また、修理に関する市の考え方も聞く。

A 該当部分は文化財の対象であり、改修工事などに関わる設計監理費の一部を補助する制度がある。現状は観光施設として美観上ふさわしくない。今後所有者と建物の修繕について協議を進めたい。



創生会
なつめ だ すみこ
棗田 澄子

府中市グランドデザイン

Q 総合計画とグランドデザインの関係、狙いと実行性について市の本気度を伺う

A 歴史に支えられた街の強みを磨き、弱みを補完しながら、街をエリアごとに分け誰にも共感される中心市街地の在

いていると認識している。

り方をストーリー性をもって描き、総合計画に盛り込んでいく。駅北整備については、駅前広場だけでなくどんな機能を盛り込めば市が目指す街の将来像が描けるか、官民連携の取り組みを強化し、20年30年の長期的視点を持ちつつ、短期的に確実に事業を進める。



創生会
ほんたに ひろゆき
本谷 宏行

少子化・人口減少対策

Q 若者の転入転出の現状とその要因・分析はいかがか。

A 平成26年の転出超過が188人、平成30年の転出超過が402人で、5年間で2倍以上に広がっており、福山市への転出が最も多い。詳細な分析はできていないが、就職や結婚を機に福山市へ住居を移すケースが多いのではと推察する。

Q 市内外に向けた情報発信強化に対する所見は。

A 発信不足は認識している。市内外へ府中市の魅力を発信し、人口減少のスピードをゆるやかにしたい。



創生会
たなべ のりこ
田邊 稔

小売店のキャッシュレス化

Q 消費税引き上げに伴い、キャッシュレス決済すると5%のポイント還元がなされるが、小売店ではキャッシュレス決済端末の導入が遅れている。小売店の衰退が懸念されるが、市としての対応を伺う。

A キャッシュレス決済端末の導入費用の補助や加盟店が決済事業者に支払う手数料の補助など、キャッシュレス化に取り組みやすい環境は整っている。商工会や商工会議所と連携して、セミナー等で国の補助事業の周知を図っていくことで、経営の後押しをしていきたい。



創生会
やすとも まさあき
安友 正章

農業政策推進のためのビジョン

Q 府中市における農業政策ビジョンについて伺う。

A 府中市の農業は、高齢化に伴う労働力不足や担い手不足、特産品開発、販路拡大など、多くの課題を抱えている。今後の農業振興に向けて、基本的な方向性や取り組むべき事項を明らかにし、効果的な施策を推進するために府中市農業振興ビジョンの策定を準備している。今後先進地の視察などを行い、情報収集や、県の次期計画との整合性を図っていきたい。



創生会
きったか なおひろ
橋高 尚裕

南北道の進捗状況

Q 現在までの進捗状況と今後の工事予定及び完成時期を伺う。

A A工区の用地買収は栗柄側は100%完了だが、高木側は71%に留まる。今後、A工区の栗柄側の橋台工事と、建設中の新国府公民館から486号線までの水路工事を進める。完成時期は未定だが、県と連携して鋭意進めていく。



創生会
かのう たかひこ
加納 孝彦

光回線の整備

Q 5Gが導入されることにより、通信分野において革新的なサービスが始まることが予想される。基盤として必要な光回線の整備について伺う。

A 全体の計画として、幹線の通っていない河佐・協和エリア、幹線は通っているが周辺整備が必要な上下エリアに分けて整備を進めていく。7月に事業者は決定しており、国の採択後、河佐エリアから工事を行い、協和エリア、上下エリアと3年以内の工事完成に向けて取り組んでいく。

委員会・分科会での審議

総務文教委員会

・過疎地域自立促進計画の変更について（原案可決）

Q 上下地域包括ケア拠点整備事業に関しては、例えば建物を大きく改修しなくてはいけなくなった場合、アスベスト等不透明な部分が多い。計画に上げたならその金額が上限になるのではないか。金額が上がった時にはその時に増やせばいいというお考えなのか。

A 過疎計画に計上するのは、事業期間や規模等を県と協議しながら、財源として有効な過疎債の見通しを立てるためである。上下地域包括ケア拠点整備事業については、中山間の拠点機能の実現という方向性の中で、駐車場の問題等を含めて精査、整理している段階である。計画に計上した額で具体的なものが確定したということではなく、今後できるだけ良いものになっていくようにスピード感を持って進めていきたい。

決算特別委員会 総務文教分科会

・平成30年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について（認定）

Q 交通安全対策事業費について、平成30年度の予算額550万円に対し、執行額が160万円、不用額が390万円近く出ている。ガードレール、カーブミラー等の多くの要望があったと思うが、なぜ実行できなかったのか。7月豪雨災害により、予定していた要望事項に基

づくガードレール等の工事を取りやめて災害復旧工事を優先した結果である。年度末まで検討したが、結果的に発注できなかったということご理解いただきたい。

Q 小学校施設管理費のうち、改修工事費3561万3000円をどの様に使ったのか。また、中学校施設管理費の中で営繕工事費が1251万1800円支出されているが、どの中学校にどのような修繕が行われたのか。

A 栗生小学校の校舎内の1階から4階までの男女別用のトイレ、屋外プールに付属するトイレの改修工事費として支出した費用である。中学校の営繕工事費は、第二中学校に肢体不自由特別支援学級を新設するための改修工事として支出した費用である。生徒の安全を考慮すると1階の教室が望ましいと判断したので、それまでは武道場として設置していた教室を改修して障害者用トイレ及びシャワー室を整備し、複数の生徒に対応できるよう安全、安心な学習環境を整えた教室として改修したものである。

予算特別委員会 総務文教分科会

・令和元年度府中市一般会計補正予算（第2号）について
Q ふるさと納税型クラウドファンディングについて、目標に達しなかった場合、市の補正で行う考えは現時点ではないのか。
A 現時点でクラウドファンディングを行った不足分

を市として埋めるという考えは持っていない。EVカーレースのクラウドファンディングに関しては10月から行う予定で、1か月程度期間を設け11月には結果が出る予定である。目標に達しない場合は協賛金を集めたり、予定している設備のコストダウンを図るなどし、事業の実施は行っていきたい。

Q マラソン大会について、過去のマラソン大会とどう差別化していくのか。過去と同じ程度のものなのか、もっと関わる人数を増やしていきたいのか。

A スポーツをめぐる状況は大きく変化しており、これまで競技力向上や健康増進中心の考え方だったが、昨今のスポーツは産業に波及しており、今後はスポーツ単体の施策でなく、スポーツ・文化・観光を掛け合わせた施策、スポーツツーリズムといった展開が必要になってくると考えている。新たに立ち上げるマラソン大会も、市としては全国でもあまり例がない街中でのマラソン大会を基本に考え、府中市の魅力在市内外にアピールできる内容にし、人口の増加につながるように努めていきたいと考えている。

厚生委員会

・地方独立行政法人府中市病院機構第3期中期目標を定めることについて

Q 第3期中期目標の前文に、この第3期が大きな転換点となる認識で書かれている

が、具体的にどういったところが大きな転換点となるのか。また、両病院が親近感、信頼感、安心感を感じる病院経営を行ってほしいとのことだが、市が病院機構にどのように経営をしてもらいたいのか、詳しい説明を伺う。

A 今後は一つの病院でフルセットの医療を提供する病院完結型医療は現実的ではなく、国や県が推奨している地域完結型医療への転換が求められている。今後病院機構がどういった医療提供体制を目指していくかが、大きな転換点になると考えている。また今後は、府中市民病院改築時の医療機器等の整備の影響で令和3年度までは多額の償還資金が必要となり、依然として厳しい経営状況が続くものと分析している。今後の病院経営の安定が、大きな転換点になると考えている。親近感、信頼感、安心感を感じるための施策は、市民から選ばれる病院づくりを重要なテーマのひとつとして捉えている。定期的に患者満足度調査を行い改善につなげ、前年の満足度を上回るよう求めている。併せて、積極的な情報発信を求め、より身近な総合病院にして欲しいと考えている。

【反対討論】

地域完結型に転換をする必要があるとの認識があるのであれば、その病院像とは何なのか、分かるような目標にすべき。また、4億円の支援を継続している病院に対して、もう少し具体的なイメージが持てる目標にしていいただきたい。大きな転換点となる具体的な中身を提示していただきたい。
【賛成討論】
平成29年度は病院側の努力

などにより赤字幅が少なくなつた。厚生委員会でも評価している。府中市病院機構は、市長の評価を次期の計画に反映し、実行していただきたい。

・平成30年度府中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定）

Q 特定健康診査受診に係る個人負担金の見直しとして、受診料を無料としたとなつていますが、何名の利用があつたのか。

A 平成30年度末の国保加入者7916人のうち、法定報告の数値だが、健診対象者が6221人、そのうち健診した人数は2458人となり、受診率は39・5％となつている。

決算特別委員会 厚生分科会

・平成30年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について（認定）

Q 避難行動要支援者台帳システム保守の業務委託料63万396円は、平成29年度も同額が計上されているが、どのような内容か。

A 要支援者台帳システムは、平成23年度から導入されている。このシステムについては、要支援者の緊急時の連絡先や世帯情報、避難場所、支援者、災害時の特記事項などの情報を一括管理している。保守の内容は、要支援者の死亡や転出などの異動情報の作成や75才の年齢到達者の抽出を行うため、住基システムや障がい福祉システムから対象者情報の取り込みを行う作業となつている。また、ゼンリン地図情報と要支援者の台帳情報の連携や確認を行う作業

が主なもので、ゼンリン地図のライセンス料も含まれている。3か月に1回程度メンテナンスを行っている。

Q 母子家庭等高等職業訓練促進給付金が397万1000円となつているが、利用者数を教えてほしい。

A この給付金は、母子家庭の母、父子家庭の父が資格を取得するもの。対象資格としては、看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士等で、学校に通っている間の生活費の給付的な性格を持ったもの。平成30年度の利用者は4人となつている。

予算特別委員会 厚生分科会

・令和元年度府中市一般会計補正予算（第2号）について
本案に対しては質疑及び討論のいずれもなく、審査を終了。

建設委員会

・府中市水道条例の一部改正について（原案可決）

Q 更新制を導入することに伴い、有効期限を5年にした理由とその効果、また、更新時の確認4項目に不備があつた場合、どのように対応されるのか。

A これまでの指定給水装置工事事業者の指定については、指定のみが定められ、指定の有効期間がなく、廃止・休止等の実態把握が困難であつたため、実態把握と指定給水装置工事事業者の資質の維持向上を図ることを目的として、水道法の一部改正により、指定の有効期間が新たに定められ、5年ごとの更新制

が導入された。また、更新時の項目について、工事事業者が適正に事業運営をしていることを確認することを目的に4項目の確認事項を設けており、不備があり要件に該当しないということであれば更新ができない場合もあり得る。

・平成30年度府中市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定）

Q 地方公営企業会計移行業務委託料1134万円について、企業会計へ移行するための委託料なのか、それとも移行が終わって業務が行われており、今後必要となつてくる費用なのか。

A 費用について、平成30年度から令和元年度の2カ年度の債務負担行為で、平成30年度は1134万円、令和元年度は1765万8000円の合計2899万8000円の委託料である。業務の内容は、固定資産調査業務と公営企業会計移行支援業務であり、固定資産調査業務は企業会計業務に必要となる有形固定資産及び無形固定資産の調査及び評価を行い、新たに導入予定の下水道企業会計システムに移行する。また、公営企業会計移行支援業務は、地方公営企業法の適用のため、必要な条例・規則の制定や現在の条例規則の改廃、公共下水道特別会計の打ち切り決算、企業会計による当初予算編成や、新たな企業会計システムの導入など、多岐にわたる事務支援業務である。

決算特別委員会 建設分科会

・平成30年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について

（認定）
Q 埋立センター残容量調査業務委託料について、どのような調査を実施されたのか、その結果、あと何年処分場がもつのか調査結果について伺う。

A 調査の内容については、埋立センターにおける残容量を把握して、あと何年くらいで埋め立てができなくなるのか、現地での測量調査を行ったもので、現在のごみの数量で推移した場合、埋め立て可能年数は約8年と予測している。

Q 起業支援補助金について、その内容や経緯について伺う。

A 平成30年度一般会計における起業支援補助金の決算額366万9500円については、女性や若者を中心とした新規起業者を支援する府中市起業支援事業間接補助金と、高齢者の就労の場を提供する事業と高齢者が地域で貢献することができると事業を支援する府中市生きがい創業ビジネス補助金の2事業がある。府中市起業支援事業間接補助金については、4件中、飲食業3件、小売業1件、合わせて166万9500円、府中市生きがい創業ビジネス補助金については4件の事業に200万円を交付している。窓口としては、商工会議所、商工会で事業の申請を受け付けている。

予算特別委員会 建設分科会

・令和元年度府中市一般会計補正予算（第2号）について

Q 起業支援補助金について、390万円計上され、昨年よりも増額されている要因

は何か。

A 府中市起業支援間接補助金について、当初予算で200万円計上していたが、5月13日に本年度第一回目の審査会で予算の満額交付となった。その後、府中商工会議所や上下町商工会へ新たな起業相談があり、起業したいという意向を確認したことから、市内産業の拡大を目指し起業希望者の後押しをしていくという観点から、390万円を

追加計上したものである。

Q うち、草刈業務委託料の補正276万円が計上されているが、その要因は何か。
A 草刈業務委託の追加補正料費等の上昇により、委託料276万円を増額するものである。平成30年度と比較すると6%から7%の上昇となっている。

討論議案

議案第70号 地方独立行政法人府中市病院機構第3期中期目標を定めることについて

反対 市民クラブ 水田 豊

J A総合病院と府中北市民病院を経営統合し、地方独立行政法人がその経営をおこなって8年になる。この間、市は毎年4億円以上の税金を繰出し、建替えに約50億円かけている。それにもかかわらず、現在2病院では常勤外科医師が不在、赤字の改善も出来ていない。厳しい情勢の中、第3期目標は次の4年間でのあるべき病院像を鮮明に示しておらず、反対する。

賛成 創生会 広瀬 和彦

厚生委員会では中期目標の内容が抽象的との意見もあったが、市は「今後、病院機構がどういった医療体制を目指して行くかが大きな転換点」と答弁、また「両病院の将来像の検討結果は令和2年度中にとりまとめ公表すること」と中期目標に掲げていることから賛成する。

議案第83号 令和元年度府中市一般会計補正予算(第2号)について

反対 市民クラブ 土井 基司

府中天満屋の空きスペース活用について「6月に天満屋ストアと覚書を交わした」と報道された。覚書に基づく「駅周辺の賑わいづくり事業」30万円が今回提案されている。空きスペースを活用され、市の活性化を図るのは素晴らしいことだが、同社と市は契約関係にあり透明性が求められない。市民へ説明がされていないため反対する。

賛成 創生会 森川 稔

駅周辺の賑わいづくり事業については、駅周辺の道の駅と府中天満屋が一体となった府中市の「拠点」として重要なエリアに、若者、女性、子育て世代を呼び込み賑わいを創出するための調査分析をして目指すべき空間デザインを描いていくものである。今後、透明性を高めていくよう意見を付して、この補正予算に賛成する。

平成30年度政務活動費の報告 各会派に政務活動費として議員一人当たり、年間12万円が支給されます。

会派・議員名	人数	支給額	使用額	使用内容	効果
創生会	13名	1,560,000円 (戻入金 42,977円)	1,587,303円 (会派活動費 70,280円)	調査旅費 1,274,579円 衆議院議員会館（農業及び鳥獣対策）石巻市（防災・減災）川越市（観光振興）西栗倉村（起業と雇用の創出）備前市（タブレット配付）高知県（農産物安全検査センター）内子町（観光振興） 広報費 242,444円 創生会通信発行（年2回 ※通常は年4回発行） 資料購入費 70,280円 第一法規「議員NAVIPlus他」	・衆議院議員会館は、中山間地域の農業政策と鳥獣対策について、各担当部局より国の政策と対策を聞いた。石巻市は、東日本大震災からの復興と、現在の防災・減災に対する市の体制や取り組みの状況を聞いた。川越市は、観光名所が多く、市としての観光振興について取り組み内容を聞いた。岡山県西栗倉村は、小さい村ではあるが、1ターンによる起業が多くその取り組み内容と、備前市は、町内・学校へのタブレット配付に対する取り組みと費用対効果について聞いた。高知県は、6次産業に伴う生姜生産の取り組みを、愛媛県内子町は、内子座の視察を行い、上下町の観光振興への取り組みの参考とした。（総括）この視察で得た情報を基に、会派及び定例市議会で提言を行った。 ・創生会通信を2回発行した。 ・議員の情報収集の一つとして「議員NAVIPlus」を購入。（会派活動費より支出）
市民クラブ	3名	360,000円 (戻入金 58,536円)	301,464円	調査旅費 166,620円 小松市（日本遺産認定の取り組み）白山市（サービス付き高齢者向け住宅）砺波市（埋蔵文化財センター） 広報費 122,464円 市政報告会開催費(会場費・新聞折り込み費等) 広聴費 12,380円	・観光事業の参考とするため、日本遺産を活用したプランを策定して全国に発信している小松市の状況を視察に赴いた。医療、介護、地域包括ケアシステムの参考とするため、サービス付き高齢者向け住宅「おかりや」（公立松任石川中央病院）白山市の状況を視察に赴いた。文化財の活用、施設建設の参考とするため、小学校敷地内に埋蔵文化財センターを建設して、“わかりやすい・体験できる・遊びができる”という視点で運営をされている「しるし」砺波市の状況を視察に赴いた。視察での成果を活かし、観光事業や地域医療・病院経営など一般質問と政策提言を行った。 ・府中市文化センターと上下商工会館で市政報告会を開催した。
公明党	2名	240,000円	250,607円 (会派活動費 10,607円)	研究研修費 30,000円 福岡市（議員が知っておくべき財政セミナー） 調査旅費 172,607円 衆議院議員会館（農業及び鳥獣対策）石巻市（防災・減災）川越市（観光振興）西栗倉村・備前市 資料購入費 48,000円 平成30年度「日経グローバル」購入	・「議員が知っておくべき財政のセミナー」受講。財政の基礎知識や予算・決算までの事業評価について学んだ。 ・衆議院議員会館は、中山間地域の農業政策・鳥獣被害の現状と対策についての研修会を行った。石巻市は、東日本大震災の被害及び被災についてと復興への取り組みを伺った。川越市では観光インバウンドの取り組みと課題を伺った。備前市では町内会長と小中学校へタブレット配付をされていて、費用対効果などを伺った。それぞれ府中市の課題と照らし合わせ、質疑を行った。 ・日経BPマーケティング（日経グローバル）書籍購入し、実態把握が参考になり質疑に役立った。
日本共産党	2名	240,000円	488,280円 (会派活動費 248,280円)	研究研修費 156,000円 議員の学校（東京都立多摩図書館セミナーホール） 資料作成費 4,336円 プリンターインク代 資料購入費 8,180円 書籍「南海トラフ地震 大規模災害に備える」、「人口減少と大規模開発」、「秦野市公共施設白書&再配置計画」、改訂版「市町村財政分析」 広報費 319,764円 議会報告印刷費、新聞折り込み代他	・「議員の学校」では女川町長の報告より、町が被災の現実から出発し、どのような復興計画を立て、実現してきたかがリアルに聴けて理解できた。ユニークなアイデアを出し合い、夢と希望をもって取り組むことの大切さを学ぶことができた。 ・秦野市がこの間自らの実践を通してまとめた「公共施設白書」からは多くのことが学べた。全国各地で進んでいる高齢化や人口減少に対応した先駆的な取組が行われている。府中市でもこの書籍を資料として学び、活用したり、中心になって推進している秦野市の担当者を当市に講師として招いたりするなど、積極的な取組が必要である。 ・この1年、各定例議会の内容を分かりやすくまとめて広く知らせていく取組を進めてきた。こうした活動の中で、自分たちの不十分な点を反省でき次の議会に向けての課題も明らかにすることにつながった。また、議会報告を発行する中で、多くの市民の方から市政に対する意見や会派に対する要望を聴かせていただいた。

○詳細は府中市ホームページにも掲載しています。

9月議会での各議員の議決結果（賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください）

議員名		加藤	芝内	福田	森川	広瀬	安友	岡田	檜崎	土井	水田	加納	山口	本谷	三藤	加島	大本千香子	田邊	橘高	丸山	棗田
議案名		吉秀	則明	勉	稔	和彦	正章	隆行	征途	基司	豊	孝彦	康治	宏行	毅	広宣		稔	尚裕	茂美	澄子
事 件	地方独立行政法人府中市病院機構第3期中期目標を定めることについて	－	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予 算	令和元年度府中市一般会計補正予算（第2号）について	－	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決 議	天皇陛下御即位を奉祝する賀詞決議	－	棄	○	○	○	○	○	○	棄	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（－議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥…本人等に関わる議案については審議に参加できないこと）

第8回

議員と語る会
(議会報告会)

主催：府中市議会

議会活動を広く知っていただき、あわせて、議会に対するご意見を
お聞かせいただくために、次のとおり議会報告会を開催します。

日 時	会 場	担 当 議 員（ 予 定 ）			
11月5日(火) 19時～20時30分	旭公民館	安友 正章	森川 稔	加藤 吉秀	
		田邊 稔	土井 基司		
11月5日(火) 19時～20時30分	上下町民会館	本谷 宏行	広瀬 和彦	大本千香子	
		山口 康治	檜崎 征途		
11月6日(水) 19時～20時30分	Kultピア栗生	森川 稔	芝内 則明	山口 康治	
		水田 豊	橘高 尚裕		
11月6日(水) 19時～20時30分	生涯学習 センター (TAM)	加納 孝彦	岡田 隆行	丸山 茂美	
		広瀬 和彦	福田 勉		
11月7日(木) 19時～20時30分	Kultピア明郷	岡田 隆行	本谷 宏行	大本千香子	
		三藤 毅	水田 豊		
11月8日(金) 19時～20時30分	出口公民館	田邊 稔	加島 広宣	丸山 茂美	
		土井 基司	橘高 尚裕		
11月8日(金) 19時～20時30分	協和公民館	芝内 則明	加納 孝彦	棗田 澄子	
		三藤 毅	檜崎 征途		
11月10日(日) 14時～15時30分	保健福祉 総合センター (リ・フレ)	加島 広宣	安友 正章	加藤 吉秀	
		棗田 澄子	福田 勉		



編集後記

府中市消防団岩谷分団が、9月7日に広島市で開催された広島県消防ポンプ車操法の部で3位入賞をしました。4年に一度の大会に県内13チームが参加し、放水までの時間や正確性、規律などを競いました。

選手は、2月の寒い時期から体力づくりや規律訓練を経て、5月末からは週3回の操法訓練と頑張ってきました。

また、府中市消防団の本団や各分団のサポート、4町内会（目崎・父石・上山・荒谷）や後援会の支援と地元企業による訓練会場の提供など、みんなの思いが一つになった結果です。

安心・安全なまちづくりは、地域の皆さんの協力の輪が広がっていくことによりでき上がっていくものと、強く感じているところです。

（森川）

議会だよりへのご意見・ご感想お待ちしております。

TEL(0847)43-7171

FAX(0847)45-3212

議会の動き（7～9月）

- 7月2日 総務文教委員会（所管事務調査）
- 7月3日 議会改革特別委員会(第14回)(調査事項まとめ)
- 7月5日 広報広聴特別委員会（編集作業）
- 7月11日 議会改革特別委員会(第15回)(調査事項まとめ)
- 7月12日 厚生委員会（所管事務調査）
- 7月12日 広報広聴特別委員会（編集作業）
- 7月16日～18日 建設委員会視察
- 7月19日 議会改革特別委員会(第16回)(調査事項まとめ)
- 7月22日 議会改革特別委員会全体会（中間報告）
- 7月22日 議会改革特別委員会(第17回)(中間報告の修正)
- 7月22日 議会運営委員会（中間報告）
- 7月24日 厚生委員会（所管事務調査）
- 7月25日 総務文教委員会（所管事務調査）
- 7月26日 建設委員会（行政視察のまとめ）
- 7月26日 議会改革特別委員会（第18回）（議員定数について）
- 7月29日～31日 総務文教委員会視察
- 7月31日 厚生委員会（所管事務調査）
- 8月1日 議会運営委員会（定例会の運営）
- 8月9日 議会改革特別委員会（第19回）（議員定数について）
- 8月19日 建設委員会（所管事務調査）
- 8月19日 総務文教委員会（所管事務調査）
- 8月19日 議会改革特別委員会（第20回）（議員定数について）
- 8月21日～23日 厚生委員会視察
- 8月27日 議会運営委員会（定例会の運営等）
- 8月28日 建設委員会（所管事務調査）
- 8月29日 広報広聴特別委員会（所管事務調査）
- 8月29日 議会改革特別委員会（第21回）（議員報酬・政務活動費について）
- 8月30日 総務文教委員会（所管事務調査）
- 9月2日 総務文教委員会（審議会委員の選任）
- 9月11日 総務文教委員会（議案の審査）
- 9月12日 厚生委員会（議案の審査）
- 9月13日 建設委員会（議案の審査）
- 9月18日 議会運営委員会（定例会の運営）
- 9月18日 広報広聴特別委員会（編集作業）
- 9月24日 議会改革特別委員会（第22回）（議員報酬・政務活動費について）
- 9月25日 厚生委員会（行政視察のまとめ）
- 9月27日 総務文教委員会（行政視察のまとめ）
- 9月27日 議会運営委員会（所管事務調査）
- 9月30日 広報広聴特別委員会（編集作業）

視察の受け入れ

- 7月26日 岡山県赤磐市（あかいわタブレット端末導入について）